

# 野洲駅南口周辺整備構想

## 提案発表会ニュース



### 野洲駅南口周辺整備構想提案発表会

“つながり”と“にぎわい”のまちづくり

日時：6月21日（土）14：00～16：00

場所：野洲文化小劇場

参加者：48名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、  
学生5名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、  
塩見講師（理工学部環境システム工学科）、  
学生7名

### ◆プログラム

1. 開会
2. 提案説明
  - ・共同研究に至るまでの経緯 / 共同研究の内容
  - ・全体イメージ（機能配置と動線）
  - ・調査分析（交通影響、マーケティング）
  - ・広場と連携した施設の事例
  - ・構想策定に向けた事業調整
3. フリータイム
4. まとめ

### ◆野洲駅南口周辺整備構想の検討

アサヒビール(株)から駅前の土地を「市民活動拠点施設用地」として買い取ったことを契機とした、駅前ににぎわいづくり、まちづくりは、市民の思いに大学の専門的な知識や経験、発想を交えて進めてきました。

平成25年6月に野洲駅南口周辺整備構想検討委員会で示されたテーマや機能を土台に、これまでのワークショップやヒアリング等の結果を踏まえ、将来へ受け継がれる財産となるよう検討を積み重ねてきました。

その成果として、市民が憩えて安心できる市民広場を中心とした、人と人がつながるにぎわいづくり、まちづくりを提案します。

### ◆提案のポイント

約20年後を将来像に見据え、これまで市民ワークショップ等でいただいた意見をもとに、対象区域内における機能の規模や配置、利用者の動線を具体化しました。

- ・市民広場を中心とした機能配置
- ・景観への配慮
- ・安全で円滑な動線

「心と体の健康をテーマに、

人と人がつながることで生まれるにぎわいづくり」



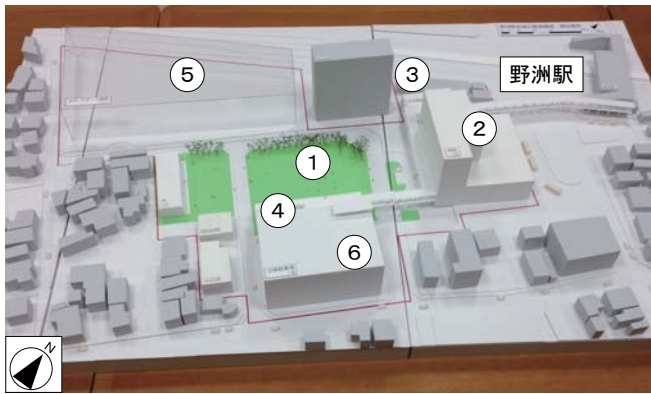
模型



各機能が取り囲む市民広場の賑わいのイメージ

※共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません（JAの配置についても、確定したものではありません）

## ■機能の規模と配置



※共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません  
(J Aの配置についても、確定したものではありません)

	敷地面積	階層	利用の具体例
① 市民広場	2,300㎡	—	市民が自由に利用できる場、緑を感じられる空間、子どもの遊び場、フリーマーケット、青空市等 ※広場として活用可能な面積:約3,500㎡ (隣接する交流/商業施設Bの敷地との一体活用)
② 病院	5,500㎡	9階	想定病床数:199床 ※中核的医療拠点として、一定の役割を担う病院
③ 交流/商業施設A (駅舎側)	2,000㎡	2階	店舗(飲食店、直売所等)、情報発信拠点(企業、市民活動、学生、市)等
④ 交流/商業施設B (市民広場側)	5,000㎡	5階	コミセン(研修室、調理室、多目的室等)、健康センター(健診室、健康相談等)、図書館分室、店舗等
⑤ 文化スポーツ施設	11,000㎡	—	アリーナ、ホール、トレーニング室等 ※既存施設の集約を前提
⑥ 立体駐車場	5,000㎡	7階	想定収容台数:約500台(フラット式) ※周辺施設の共用駐車場

## ■参加者の声①



- ・市民広場は、場所が広く取れ、活気のある楽しいイメージができた
- ・近隣にも引けをとらない活発なまちになるよう期待している
- ・病院の立地は、駅に近く、すごく良いと思う
- ・広場との連携や交流施設など、模型などを使って分かりやすく具体化されたため、良いイメージができた
- ・子供のためにいい広場にしたい
- ・南口だけでなく、北口も一緒に計画して欲しい
- ・今後、高齢化が更に進むので、それを見越して構想をしっかりと進めて欲しい
- ・広場に遊び心を取り入れたベンチなどを設置して欲しい

## ■参加者の声②

- ・幅広い世代に向けたイベントなど、人を集めるソフト面の検討が重要だと思う
- ・雨水排水への対策として、広場の地下に貯水タンクを設置しても良いのではないかと
- ・災害時の避難のことを考え、病院の庇を伸ばして、雨をしのげる場所があっても良いだろう
- ・京都駅の大階段のようなものを作って、そこに腰掛けて広場を見下ろせたり、遊べたりできると楽しいのでは
- ・野洲は土地が平坦なため、レンタサイクルを展開してもいいのでは
- ・広場に遊歩道、プロムナードがあっても楽しそう



## ■構想策定に向けた事業調整

この提案は、約20年後を将来像に見据え、段階的に整備していくものです。  
これを実現性・持続性のあるものとしていくため、市では地権者との協議や資金計画、事業スケジュールといった事業調整を行い、平成26年12月を目処に「野洲駅南口周辺整備構想」としてまとめる予定です。